

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年7月26日(2007.7.26)

【公表番号】特表2007-506664(P2007-506664A)

【公表日】平成19年3月22日(2007.3.22)

【年通号数】公開・登録公報2007-011

【出願番号】特願2006-515980(P2006-515980)

【国際特許分類】

**C 0 7 C 311/08 (2006.01)**

**C 0 7 C 303/40 (2006.01)**

**A 6 1 K 31/277 (2006.01)**

**A 6 1 K 31/198 (2006.01)**

**A 6 1 K 31/4418 (2006.01)**

**C 0 7 D 213/42 (2006.01)**

**A 6 1 P 37/02 (2006.01)**

**A 6 1 P 29/00 (2006.01)**

**A 6 1 K 45/00 (2006.01)**

**C 0 7 B 61/00 (2006.01)**

【F I】

C 0 7 C 311/08

C 0 7 C 303/40 C S P

A 6 1 K 31/277

A 6 1 K 31/198

A 6 1 K 31/4418

C 0 7 D 213/42

A 6 1 P 37/02

A 6 1 P 29/00

A 6 1 K 45/00

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月4日(2007.6.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

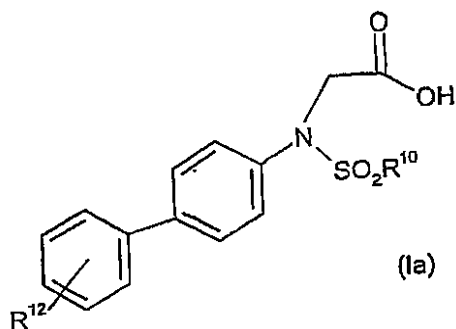
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(1a)：

## 【化 1】



( 式中、

 $R^{10}$  はHまたは $C_{1-6}$ アルキルを表し； $R^{12}$  はH、ハロゲン、 $CF_3$ 、シアノ、 $OCF_3$ 、ニトロ、 $OR^{13}$ 、 $SR^{13}$ 、 $COR^{13}$ 、または $C_{1-6}$ アルキルを表し； $R^{13}$  は $C_{1-6}$ アルキルまたは $C_{1-4}$ アルキルアリールを表す )

で表される化合物、またはその生理学上機能的な誘導体。

## 【請求項 2】

薬剤において使用するための、請求項 1 に記載の化合物。

## 【請求項 3】

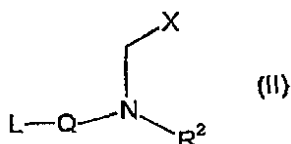
請求項 1 に記載の化合物および製薬上許容可能な担体、ならびに場合により 1 種または複数の他の治療薬を含む医薬組成物。

## 【請求項 4】

請求項 1 に定義した式 (Ia) で表される化合物の調製方法であって、

(A) 式 (II)：

## 【化 2】



( 式中、

 $R^2$  は $SO_2R^{10}$  (ここで、 $R^{10}$  は請求項 1 に定義した通りである) を表し；

Q はフェニルを表し；

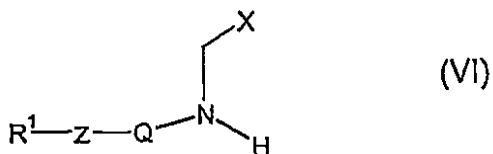
X は $CO_2H$ を表し；そして

L は脱離基を表す )

で表される化合物を、場合により $R^{12}$  (ここで、 $R^{12}$  は請求項 1 に定義した通りである) で置換されたフェニルを導入するのに好適な試薬と反応させるステップ；あるいは

(H) 式 (VI)：

## 【化 3】



( 式中、

 $R^1$  は、場合により $R^{12}$  (ここで、 $R^{12}$  は請求項 1 に定義した通りである) で置換されたフェニルを表し；

Z は結合であり；

Q はフェニルを表し；そして

X は $CO_2H$ を表す )

で表される化合物またはその保護された誘導体を、 $\text{SO}_2\text{R}^{10}$ （ここで、 $\text{R}^{10}$ は請求項1に定義した通りである）を導入するのに好適な試薬と反応させるステップ；あるいは

(J) ステップ(A)および(H)から選択したステップを実施し、次いで、1個または複数の官能基を相互変換するステップを含む、前記方法。